

小学校 1・2年

基本的な学習習慣を身につける

1・2年生では…

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など基本的な生活習慣を身につけることが学習習慣の定着に欠かせません。

家族の助けを借りながら、学校での学習を受け、学習内容や方法を決め、**できたことをほめる**ことによって興味・関心を引き出し、**意欲を高める**ことができます。

学習時間のめやす

15～30分

学習の特徴

- 45分を1時間とした授業の中で、「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には、**繰り返し練習することで力がつく学習内容**がたくさんあります。
- 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」ことが、学習の基本になります。
- 生活と結びついた学習**が多く、身近な物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。

家庭での援助

- 学習を始める前に、**テレビなどを消しましょう**。**勉強をする場の整理整頓**をしましょう。
- 学校からの連絡やお便り、明日の授業などを子どもと**一緒に確かめる**ことが大切です。
- 学習時間を決めて**、家庭学習をするときは近くにいてあげましょう。
- まずは、**毎日宿題を最後までやらせる**ことを続けましょう。
- 一緒に買い物をしたり、時計をよんだりしながら、**子どもの生活経験を増や**しましょう。

家庭学習の内容

国語

(音読)

- 楽しみながら、大きな声で読めるようにしましょう。
- 句読点(「、」や「。」)に気をつけて、すらすら読めるように練習しましょう。
- 毎日続けて練習しましょう。

(漢字)

- 書き順や文字の形に気をつけて書きましょう。
- 正しい姿勢で、丁寧にゆっくり書きましょう。

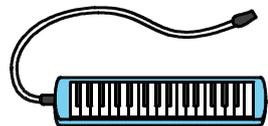
(読書)

- 子どもの興味や関心、学年に応じた本をまわりに置きましょう。
- 読み聞かせをしてあげることも、大切なことです。



算数

- 計算力を向上させるためには、まずはゆっくり正確に計算できるように、正しい計算手順を確実に身につけましょう。
- 正しく計算できるようになったら、徐々に早くできるように練習しましょう。
- 間違った問題は必ず見直し、もう一度やり直すことが重要です。



そのほか

- 音楽の鍵盤ハーモニカを練習したり、生活科で動植物の観察をしたりすることも、大切なことです。
- 楽しかったことやうれしかったことを、自分の言葉で絵日記や日記に書くこともすすめてください。
- 家庭での援助として、音読を聞いてやり、感想を言ってあげることも大切なことです。

おうちでの約束

こなべんきょうをしよう

【じどうよう】

(1ねんせい)

- はじめに しゅくだいを します。
(おわったら おうちの ひとに みて もらいましょう)
- つづいて つぎのような べんきょうを しましょう。

【こくご】

おすすめ	べんきょうの しかた
1 きょうかしょを よむ。	○きょうかしょの いま べんきょう しているところを 3かい よみます。
2 ひらがな・カタカナを かく。	○ならった じを かきじゅんに きをつけて かきます。
3 かんじを おぼえる。 	【ドリルを つかって】 ①かんじの ところを 3かい よみます。 ②ひらがなの ところを みて ノートに かんじに なおして かきます。 ③もういちど かんじの ところを みて まるつけを します。 ④まちがえていた じは ノートに 3かい かきます。

☆ 1～3がおわったらつぎにチャレンジ！

○ にっきを かく。	○いつ・どこで・だれと・なにをしたか を かきます。 ○ならった ことばや カタカナ・かんじを つかって かきます。 ○おもった ことも かきます。
○ どくしょを する。	○いろいろな ほんを よみます。としょかんで かりても いいですね。

【さんすう】

1 きょうかしょの もんだいを する。	①がっこうで べんきょう した ところを もう いちど ノートに やってみます。 ②さんすうの ノートを みて まるつけを します。 ③まちがえた ときは もういちど やります。
2 けいさんの れんしゅうを する。 	【ドリルを つかって】 ①ばんごうを かき もんだいを ノートに うつして かきます。 ②しきや こたえを かきます。 ③こたえを みて まるつけを します。 ④まちがえて いた ところは おうちの ひとに きいて かきなおします。

こなべんきょうをしよう

(2年生)

- 1 はじめに しゅくだいを します。
(おわったら おうちの 人に見て もらいましょう)
- 2 つづいて つぎのような べんきょうを しましょう。

【こくご】

おすすめ	べんきょうの しかた
1 きょうかしょを よむ。	○きょうかしょの いま べんきょう しているところを 3かい よみます。
2 かん字を おぼえる。 	【ドリルを つかって】 ①かん字の ところを 3かい よみます。 ②ひらがなの ところを見て ノートに かん字になおして かきます。 ③もう一ど かんじの ところを見て まるつけをします。 ④まちがえていた 字は ノートに 3かい かきます。 ○ならった かんじを つかって みじかい 文をつくり ノートに かきます。

☆ 1～2がおわったらつぎにチャレンジ！

○ 日 <small>ひ</small> きを かく。	○いつ・どこで・だれと・なにをしたか を かきます。 ○ならった ことばや カタカナ・かん字を つかって かきます。 ○おもった ことも かきます。 ○かいわを 「 」を つかって かきます。
○ どくしょを する。	○いろいろな 本を よみます。としょかんで かりても いいですね。

【さんすう】

1 きょうかしょの もんだいをする。	①学校で べんきょう した ところを もう一ど ノートに やってみます。 ②さんすうの ノートを見て まるつけを します。 ③まちがえた ときは もう一ど やります。
2 けいさんの れんしゅうをする。 	【ドリルを つかって】 ①ばんごうを かき もんだいを ノートに うつして かきます。 ②しきや こたえを かきます。 ③こたえを見て まるつけを します。 ④まちがえて いた ところは おうちの 人に きいて かきなおします。

